第２号様式（第５条関係）

ＳＤＧｓおおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、ＳＤＧｓの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにＳＤＧｓの推進に取り組むことを宣言します。

＜宣言日＞　令和７年４月14日

事業者情報		
事業者名		KAORINO/カオリ乃
代表者　職・氏名	職名	代表
	氏名	原　和子
ホームページURL（任意）		
事業者ロゴ（任意）		KAORINO Aroma and Herbs Shop

事業者としての2030年のあるべき姿

1. “癒し”と“倫理”を両立した商品づくり

心地よい香りで癒されながら、その裏側にある環境や労働環境にも責任を持つ。

2. 地球と調和する香りのライフスタイル提案

香りを使うシーンにもサステナブルな選択を。

例えば「キャンドルではなくアロマストーンやアロマセラミックボール」や「夜だけ香るアロマスプレー」など、

省エネの観点も意識。

3. 透明性のあるトレーサビリティ

原料の生産地や抽出方法を開示し、安心と信頼を届ける。

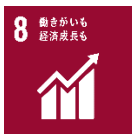
4. 循環型ビジネスの構築

リフィル対応、香り容器の回収、香り残渣のコンポスト化など、香りの「終わり方」までデザインする。

5. 地域と共につくる香りの文化

地元の農家・作家・施設と連携し、“香りのまちづくり”を推進。地域経済と文化の活性化へ。

これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいＳＤＧｓ17 のゴール・目標（複数選択可）
（これまでに取り組んでいるゴール・目標：○　これから取り組みたいゴール・目標：●）

○	●	○	●	○	●
					
●	○	●	○	○	○
●	●	○	●	●	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入（複数記入可）	これまでの取組内容	これからの取組内容
5	・東京レインボープライド2024にて製品提供	・ジェンダーレスな製品の開発 ・性別に囚われないワークショップ・教室の開催
9	・大田区の産業振興やまちづくりを目的としたオリジナルプロダクト製品の企画・製造・販売	・大田区内の事業者と協業し、先端技術を組み合わせた新たなオリジナルプロダクト製品の製造
15	・化学香料ではなく、オーガニックやフェアトレードの精油を使うことで、環境への負荷を軽減。	・再利用できる容器やミニマルな包装で、無駄を省く。
11	・大田区内のリノベーションプロジェクトに参加し、より住みやすい街にするための企画やアイデア出しを行う	・大田区内の事業者としてまちづくりへの積極的な参加と地域の人との交流を継続的に行う